

2009年度

ユニセフ活動報告集

～世界の子どもたちの笑顔がもっと広がりますように～



ユニセフハンド・イン・ハンド募金活動 盛岡市カワトク前 2009.12.13

(財)日本ユニセフ協会岩手県支部

〒020-0180 岩手郡滝沢村土沢 220-3 いわて生協本部2F

TEL 019-687-4460 FAX 019-687-4491

<http://www.unicef-iwate.jp/>

ユニセフ出前講座

一関市立一関東中学校 7月9日



▲5歳未満児の死亡を国ごとに色ぬりをしたり、選択公開講座でユニセフの活動を学びました。

滝沢村立滝沢南中学校 7月9日



▲三年生200人が「水やマラリヤなどに苦しむ途上国の子どもたち」の状況を知り、「小さいことからボランティア活動に取り組みたい」とボランティア活動への理解を深めた。

盛岡市立上田小学校 9月2日



▲5～6年生が「福祉講演会・守れるはずのいのち」でワークショップで途上国の食料不足・子どもたちの現状とユニセフの活動を学びました。

岩手県立大学社会福祉学部 11月9日



- ▲ 「社会福祉国際福祉比較論」社会福祉比較論で困難な状況にある子ども、ジェンダーの問題と日本とユニセフの協力60年について学ぶ。黒柳徹子さんがユニセフ親善大使になった1984年当時、5歳未満児の死亡は1500万人（現在880万人）

金ヶ崎町立永岡小学校 11月11日



- ▲ 3～4年生を対象に行われた国際理解講座、ユニセフすごろくや水がめを使って水くみ体験、「学校に行きたくても行けない子やきれいな水がないなんて！」

盛岡市立玉山中学校 12月2日



- ▲ 盛岡市立玉山中は総合的な学習の時間に「生き方講座」でユニセフを学ぶ、事前にユニセフについて調べ発表。藤原事務局長が東ティモールスタディツアーを報告

大船渡市立吉浜中学校 2月23日



▲平先生がサリーをまとめてインドスタディツアー報告、5歳未満児の死亡を国ごとに調べる

花巻友の会 3回シリーズでユニセフ講座 5月23日・6月20日・7月11日



▲食糧分配・・・アフリカ少ないぞ！

高校生やユニセフ会員が3回シリーズでユニセフの活動を学びました。いわて生協福士
久美子さんのネパールスタディツアーの報告

岩手県支部を訪問 11月27日

岩手大学教育学部附属中学校1学年の山本雛乃さん、
菊地友弥くん、中村朱さんの三人が、「自分自身を見
つめる」、「わたしの夢（将来なりたい職業）」「海外
で紛争などに苦しんでいる人たちを助けてい」と調
査・課題を学ぶため訪問。



世界地図を使った体験学習に取り組む高校生ら



ユニセフ募金贈呈



▲いわて生協 緊急募金贈呈 (スマトラ・サモア沖・ハイチ地震)



▲盛岡レオクラブ



▲紫波町立星山小学校



▲滝沢村立滝沢中学校



▲盛岡大学生協学生委員会



▲岩手県学校生協



▲滝沢村立滝沢小学校



▲ はなまきUC

2009年度 ユニセフ募金

(2009年4月1日～2010年3月31日)

12,882,220円

1. 一般募金と緊急募金

一般募金（生協ネパール指定募金含）8,240,614円
 フィリピン台風・サモア・スマトラ緊急募金 1,316,893円
 ハイチ地震緊急募金 3,324,713円

2. 募金先内訳

学校募金 669,893円
 個人募金 2,006,147円
 団体・企業募金 1,625,659円
 生活協同組合募金 8,580,521円

県内のユニセフ募金のあゆみ

年 度	募 金 額	緊 急 募 金 ほか
2001年度	734万円	アガニス外難民緊急募金 ｲﾄ [°] 指定募金
2002年度	704万円	ｲﾄ [°] 指定募金
2003年度	1,004万円	ｲｸ [°] ・ｲｼ [°] 緊急募金 ｲﾄ [°] 指定募金
2004年度	1,938万円	ｽﾄﾗ [°] 沖緊急募金 ｲﾄ [°] 指定募金
2005年度	1,088万円	ｽﾄﾗ [°] 沖・ﾊﾟ [°] ｷｽ [°] 緊急募金 ｷ [°] ﾙ指定募金
2006年度	874万円	ｼﾞ [°] ﾔ [°] 島・ｽﾞ [°] ﾝ [°] ﾀ [°] ﾙ [°] ﾙ [°] 緊急募金 ｷ [°] ﾙ指定募金
2007年度	918万円	ﾊﾞ [°] ﾝ [°] ｸﾞ [°] ﾗ [°] ｲ [°] ﾂ [°] ・ｻ [°] ｲ [°] ｸ [°] 緊急募金 ｷ [°] ﾙ指定募金
2008年度	1,282万円	ﾐ [°] ﾔ [°] ﾝ [°] ﾏ [°] ｰ [°] ・中 [°] 国 [°] 大 [°] 地 [°] 震 [°] 緊急募金 ｷ [°] ﾙ指定募金
2009年度	1,288万円	ﾌ [°] ｲ [°] ﾘ [°] ﾊﾟ [°] ﾝ [°] 台 [°] 風 [°] ・ｻ [°] ﾓ [°] ｱ [°] ・ｽ [°] ﾏ [°] ﾄ [°] ﾗ [°] ・ﾊｲ [°] ﾁ [°] 地 [°] 震 [°] 緊急募金 ｷ [°] ﾙ指定募金
合 計	9,830万円	

(岩手県支部設立 2001年12月8日)

ユニセフ会員：・企業 2 ・個人 201 ・学生 2 合計 205人

2009年度ユニセフ募金（2009年4月～2010年3月）

12,882,220円

岩手県支部にお寄せいただいた募金です。払込用紙の通信欄に 岩手県支部コードK1-030と記入されたもので送金いただいた方々です。
(敬称略・順不同)

〔 幼稚園・学校 〕 33校

盛岡市立玉山小学校	滝沢村立滝沢小学校	矢巾町立矢巾北中学校
盛岡市立城内小学校	滝沢村立滝沢中学校	大船渡市立吉浜中学校
盛岡市立太田東小学校	紫波町立星山小学校	県立釜石祥雲支援学校
盛岡市立手代森小学校	紫波町立古舘小学校	県立花巻北高校
盛岡市立生出小学校	紫波町立徳田小学校	県立大船渡高校
盛岡市立上田小学校	花巻市立太田小学校	二戸市立金田一中学校
盛岡市立大新小学校	花巻市立矢沢小学校	花巻市立桜台小学校
盛岡市立桜城小学校	大船渡市立末崎中学校	(私) 暁の星幼稚園
盛岡市立飯岡小学校	一戸町立一戸中学校	二戸市立中央小学校
北上市立南中学校	普代村立普代中学校	八幡平市立渋川小学校
西和賀町立川舟小学校	宮古市立山口小学校	(私) 岩手女子高校

〔 団体・企業 〕 55団体 ・ 企業

はなまきUC	二戸市福岡十区婦人会	岩手県立学校退職教頭副校長会
盛岡レオクラブ	青山婦人の会姉齒和子	セリオ緑ヶ丘
花巻寺町文化村協議会	立正佼成会花巻教会	第6回いわて女性洋上セミナー六洋会
北星館	花巻温泉・佳松園	(医) 梶栄会ゆかわ脳外科ゆかわ塾・ツクラフ
マルイシ商店、	花巻温泉・ホテル千秋閣	(株) 赤沼商店
花巻温泉・ホテル紅葉館	花巻温泉・ホテル花巻	(株) 岩手県空港ターミナルビル
カマダ生花店	(有) 杉善商店、	ホテル東日本盛岡
ホテルグランシェール花巻	(株) 宮沢商店	盛岡グランドホテルアネックス
盛岡劇場	岩手県青少年会館	滝沢歩くスキーの会
ホテル東日本盛岡ブローチ	盛岡グランドホテル	トヨタ紡織東北(株)・(株) 関東シート北上
(宗) 妙円寺	妙円寺仏教婦人部	いわてリハビリテーションセンター
盛岡ロータリークラブ	岩手県日本画協会	岩手日報社編集局ご一同
仙北二丁目自治会婦人部	(有) ノア	岩手日報北部販売所親睦会
盛岡パイロットクラブ	(株) 東山堂	長岡タンポポの会ボランティア部
(特活) 善隣館	ガラス彫絵工房	ボーイスカウト大船渡
和紙ちぎり絵講習会ご一同	二戸ミスト会	ガールスカウト岩手県14団
ライフセーフティボランティア	水沢ユネスコ協会	日本ユニセフ協会岩手県支部
盛岡市婦人ボランティア野の花会	メトロポリタン盛岡ニューウィング	
日本ユニセフ協会岩手県支部花巻友の会	けやきの会代表五十嵐彰	

〔 生 協 〕 5生協

盛岡医療生活協同組合
岩手県学校生活協同組合

みやこ映画生活協同組合
いわて生活協同組合

盛岡大学生協学生委員会

〔 個 人 〕 59名

松本 勝生
藤澤 啓一
林 正文
高橋 誠子
内澤 祥子
勝又 弘子
佐々木 啓之
鈴木 彰子
高橋 愛子
守谷 祐志
阪上 浩
清水 実
佐藤 義美
大村 孝子
平山 健一
寺林 かや乃
鈴木 郁子
吉田 治
菊地 泉

吉田 ヒデ
大橋 智子
渡辺 徳司
雫石 正男
佐藤 悦郎
中村 紀子
鈴木 昭一
高橋 咲子
細野アサコ・正秋
瀬川司男・玲子
蛇石 務
菱川 伸子
瀬川 コト
野中 幹男
八重樫 洋子
西舘 政美
高橋 和宏
小笠原 裕
照井 知二

渡邊 勉
小田島 二郎
湊 早織
西田 寿美子
高橋 譲治
小松 敬一
中軽米 伸
岩崎 賢江
川島 京子
川島 晃
小笠原 妙子
村上 敬子
八重樫 満
石本 和信
川村 トシ
田中 雄子
山火武津夫・裕
田山 美由紀

〔 岩手県学校生協 取り扱い 学校募金 〕 (児童会・生徒会など) 36校

盛岡市立高松小学校・盛岡市立永井小学校・盛岡市立外山小学校・雫石町立下長山小学校
葛巻町立江刈小学校・八幡平市立渋川小学校・八幡平市立寺田小学校・紫波町立彦部小学
校・花巻市立八重畑小学校・北上市立上野中学校・奥州市立胆沢第一小学校・奥州市立田
原小学校・奥州市立伊手小学校・一関市立萩荘中学校・一関市立奥玉小学校・一関市立内
野小学校・一関市立松川小学校・県立住田高等学校・釜石市立甲子中学校・遠野市立鱒沢
小学校・県立遠野緑峰高等学校生産技術科草花班・県立遠野緑峰高等学校農業クラブ・宮
古市立重茂小学校・宮古市立崎山小学校・宮古市立豊間根小学校・宮古市立織笠小学校・
宮古市立江繋小学校・県立山田高等学校・岩泉町立浅内小学校・久慈市立久慈湊小学校・
久慈市立小国小学校・久慈市立山根中学校・洋野町立城内小学校・軽米町立笹渡小学校・
九戸村立戸田小学校・九戸村立山根小学校

古切手・書き損じハガキ・使用済みテレホンカードのご協力

・(社)岩手福寿会 ・盛岡地方振興局農政部

ユニセフ視聴覚ライブラリー

ユニセフポスター、地雷レプリカ、ユニセフビデオなど貸し出し状況

※ ユニセフ出前講座・募金贈呈

貸し出し先	幼稚園	小学校	中学校	高校	大学	一般	合計
ビデオ	1	7	1	2	1	8	20
パネル				1		2	3
地雷・水がめ・蚊帳など	2	16	4	3	1	19	45
合計	3	23	5	6	2	29	68

貸し出しグッズ：水がめ・地雷レプリカ・蚊帳・教育キット・経口補水塩・ユニセフパネル・ポスターなど

貸し出しビデオ・ユニセフと地球のともだち・貸し出しNO. 1

- ・ 世界の12歳
- ・ ユニセフってななに
- ・ 子どもと武力戦争
- ・ 子どもの権利を買わないで
- ・ 世界子供白書 2009・2008・2007・2006・・・

ユニセフ・写真パネル展

～アグネス・チャン日本ユニセフ大使の中国視察記録～

日時： 2009年 7月 20日（日）～ 7月 27日（日）

会場： 盛岡市 アイーナ、花巻市 妙円寺

～中国の被災現地は復興までまだまだ・・・子どもたちの笑顔が見られて安心～

会場には、20歳代～90歳代までの200人以上の方たちが入場し、アグネス・チャン大使の視察の記録写真に見入っていました。両会場とも女性が多く、親子連れや友だち同士の姿も見られました。会場を訪れた92歳の方は、「戦争で中国にわたり、現地でレンガづくりの家屋のよろさを知っているだけに嘆かわしい」と話していました。また、教育関係者の方は現地の学校の被災状況にしばらく見入っていました。



©日本ユニセフ協会

2008年5月12日に発生した「中国四川省大地震」は、死者・行方不明者約8万8千人に上る大惨事となり、地震発生が午後2時過ぎ、学校は授業時間であったため、崩れた校舎の下敷きになり小学校・中学校で、1校あたり100人以上の先生と子どもたちの命が失われました。あの大地震から1年が経ちましたが、「アグネス・チャン大使の四川省視察記録」写真は、私たちに、中国の被災現地は、復興までまだまだ……だということを伝えていました。しかし、何枚もの写真に見られる「子どもたちの笑顔」は悲慘さの中に、未来への活力と安心感を与えてくれました。



会場の様子

<来場者の感想—アンケートから抜粋>

- テレビ等で大きな被害があったことは知っていたが、パネルを見て改めて復興までまだまだ支援が必要だろうと感じた。心に傷は残ってしまうだろうけれど、子どもたちの笑顔が見られて少し安心した。(20代女性)
- 自分の身に置き換えてみるとなんとも言えない悲慘なことで悲しくなります。(50代女性)
- 子どもが小さい頃は”ユニセフ”を耳にし、切手や募金をしましたが、最近はそのような機会もなくなってしまいました。忘れてはいけないことを思い出しました。(40代女性)
- 深い痛みをあらためて感じます。早く被災地を復興させて元気な子どもたちに育てほしいです。(30代 女性)

ユニセフハンド・イン・ハンド募金 70万7233円

県内22会場 647人のボランティア参加(内中・高・大学生523人)

●一度も誕生日を迎えられない小さな命、年間約600万人のために！！

いま世界で5歳の誕生日を迎えることなく亡くなる子どもは年間880万人。その約7割は、一度も誕生日を祝ってもらえずに失われていく小さな命です。今年のハンド・イン・ハンドは、守られるべき小さな命のために、そしてすべての子どもたちの健やかな成長のためにみんなの“手と手をつなぐ”キャンペーンとして展開しました。

●花巻・盛岡市内7カ所で募金を呼びかけ約30万円募金いただきました！

花巻市内2ヶ所(12月6日)と盛岡市内5ヶ所(12月13日)、中学生、高校生、大学生、ユニセフ会員、いわて生協、県学校生協、県支部などからのボランティア 200人(うち中・高・大学生165人)が、ボーナスサンデーでにぎわう街で約30万円のご協力をいただきました。



▲若い親子づれやお子さんたちもすすんで募金してくれました



▲イオンモール盛岡にて

▲カワトク前で

●参加したボランティアからの感想「募金してもらおうとすごくうれしい！」

- いままで募金する側だったので、わざわざ募金しなくてもいいと思っていましたが募金してもらおう側になってすごく大変、募金してもらおうとすごくうれしいと思いました。

- 人によって募金に対する意識の違いがよくわかりました。素通りする人がどんな人なのかもわかってきました。声がかれましたが良い体験ができたと思っています。

「ハイチ地震緊急募金」活動

～生協ベルフ牧野林店で「ハイチの子どもたちのために」～

2010年1月26日、いわて生協ベルフ牧野林店(滝沢村牧野林)において、ハイチ大地震で被災した子どもたちのための「ハイチ地震緊急募金」活動を実施。11時から1時間だけの募金活動にもかかわらず、**1万8,639円**の募金に協力いただきました。

県内では、岩手日報社本社と支社、いわて生協の各店舗でも受付けております。



▲店内での募金活動

●ハイチ大地震速報「犠牲者 15 万人、国内避難民 12 万人以上」

地震発生から10日以上が過ぎ、ハイチ政府は、犠牲者15万人以上、家を失った国内避難民は12万人以上にのぼると発表しました。被害状況が徐々に明らかになる一方で、被災地への支援も拡大しつつあります。今後の課題は、子どもたちの病気の発生を抑えるために予防接種、親と離れ離れになった子どもたちの保護、不法な連れ去りや人身売買を防ぐためにユニセフはハイチ政府と協力し、支援活動と監視を強めています。

映画「地球のステージ ありがとうの物語」上映会

～盛岡・花巻会場で300人が子どもたちの笑顔に励まされる～

「地球のステージ ありがとうの物語」上映会を9月22日に盛岡市アイーナで、9月27日花巻市なはんプラザで開催。両会場では、ユニセフ会員、一般の方、小・中・高校生など300人以上の方々に観賞いただきました。

映画は、地球のステージ代表の桑山紀彦医師が紛争地や被災地の緊急医療活動の中で出会った子どもたちの様子と触れ合いを、透き通るような桑山医師の歌を交えながら伝えてくれました。この映画は、心や身体に傷を受けながらも子どもたちの命のかがやきが伝わり感動の涙と、自分にできることから何かはじめたいという思いなど、多くのことを感じさせてくれる映画でした。

来場者たちからは、「地球のステージをもっと広めたい」「10代、20代の人たちに見てほしい」などの声が寄せられました。

●盛岡会場で佐藤監督の挨拶に参加者一同から大きな拍手

盛岡上映会場には、佐藤威一郎監督がお出でくださり、「今回は、ユニセフ岩手県支部のお力添えで、盛岡と花巻で上映していただけると伺い、感謝の気持ちで一杯です。映画の題名『地球のステージ ありがとうの物語』は、桑山さん、子どもたち、映画を応援してくれた人たち、見に来てくれた皆さんへの『ありがとう』から自然についた題名です」とご挨拶いただきました。



▲佐藤監督(左端)とボランティアのみなさん(盛岡会場)



▲映画のポスター

●花巻会場ではユニセフの活動の発表を行いました

上映に先立って、はなまきUCメンバーからユニセフ募金活動について報告がありました。

南城中学校イーハトーブ委員会の高橋みずほ会長から「ペットボトルのキャップを800ヶ回収し寄付しました」、県立花巻北高校の平野芳さんと小川晴香さんから「文化祭でみんなで持ち寄った衣類やCDなどのバザーを行い募金を呼びかけました」と報告いただきました。



報告:高橋みずほさん



報告:平野芳さんと小川晴香さん

「第9回いわてユニセフのつどい」

ユニセフ活動報告と映画上映『子供の情景』

「第9回いわてユニセフのつどい」を、2010年3月22日、盛岡市プラザおでつてにおいて開催しました。このつどいには、ユニセフ会員や生協組合員など70名が参加、県内のユニセフの活動報告と交流を通じてユニセフへの理解を深めました。また、それぞれの団体の募金の取組み報告と贈呈も行いました。また、アフガニスタンの子どもたちへの戦争の影響を描いた映画『子供の情景』を上映し、戦争の悲惨さと、学校に行きたいという子どもたちのたくましさ学びました。



▲司会進行の反町久美さん



▲いわて生協『紙芝居』のお披露目

●09 年度募金額 1 千万円に、いわて生協ハイチ地震募金 202 万円、学校募金 200 万円

2009 年度の活動交流で、いわて生協が紙芝居、花巻友の会は活動報告、県支部の高橋セキ子専務理事は、県内の活動と 09 年度ユニセフ募金が 1000 万円を超えることを報告しました。

いわて生協の内沢祥子常務理事から「ハイチ地震緊急・復興支援募金 202 万 3,989 円」が、岩手県学校生協の学校募金を代表して、八幡平市立渋川小学校 6 学年松村咲紀さんから「09 年度学校募金 200 万 2,000 円」が、日本ユニセフ協会岩手県支部の村田源一郎会長に贈呈されました。



▲松村さんから募金贈呈(右・村田会長)



▲内沢さんからハイチ地震緊急募金贈呈

●映画「子どもの情景」に感動！戦争与える影響の悲惨さに絶句

イラン人ハナ・マフマルバフ監督が、アフガニスタンの子どもたちの今を描いた映画『子供の情景』を観賞しました。この映画は、バーミヤンを舞台に 6 歳の女の子バクダイは、どうしても学校に行きたいと少女の冒険を通して、「戦争が子どもにあたえた影響」や「学びたい」というたくましさを寓話的に表現したものでした。観賞した参加者の多くは、バクダイの天真爛漫さとひたむきなまでの純粋さに感動を覚えた反面、子どもたちの戦争ごっこ、いじめに心を痛め、「自由になりたいなら死ぬんだ」との言葉に絶句し涙さえ浮かべていました。

※世界の最貧国の一つアフガニスタンは、5 歳未満児の死亡率が 1000 人中 257 人とトップクラス



あなたもユニセフのボランティア活動に参加しませんか!?!

- 毎月第3水曜日に古切手・書き損じハガキの整理など
- 日本ユニセフ協会岩手県支部の活動は、みなさまのボランティア活動によって支えられています。あなたの時間を少しでも世界の子どもたちのために分けてくださいませんか？

ボランティア参加に際しては年齢、経験は問いません。ボランティア希望の方は、お気軽にご連絡ください。岩手県支部では、個人やいろいろな団体に協力いただき集まった〔使用済み古切手・書き損じハガキ・カード〕などをボランティアの皆さんに整理していただき、それを業者に引き取ってもらい、換金しユニセフ募金にしています。



▲古切手ボランティア 毎月第3水曜日 10:30～

- ユニセフカード・グッズの頒布活動
カード・グッズの価格の半分はユニセフ募金です。イベント会場での頒布活動です。
- ユニセフ出前講座
学校や地域でのユニセフ学習講師として、ワークショップなど楽しくユニセフ活動をご一緒にすすめませんか。

→ボランティア希望の方は、事務局までご連絡ください。